



キッズスペースからダイニングキッチンを見る。キッチンの立ち上がりは、木にしたというTさんの要望で杉板張りとした。床や建具の雰囲気と調和している。

玄 関と1階スペースのそれぞれに設けた大胆なまでの吹き抜けの効果で家じゅうに光が届き、どこにいても明るい。街なかでありながら緑に囲まれ、自然と調和するたずまいがS邸にはある。

住宅雑誌を見て、運命的な出会いのようなものを感じたのがアトリエ105の住宅だったという。妻のTさんは「デザインが心にすっと入ってくるよう。自然の素材が使われた優しい雰囲気、住みやすそうだなと思いました」と当時の印象を語る。同社の物件を見たらうそで納得、ビルダーはスムーズに決まった。住宅の断熱や気密について研究・実践する民間団体「新住協」の会員であることも決め手の一つになった。

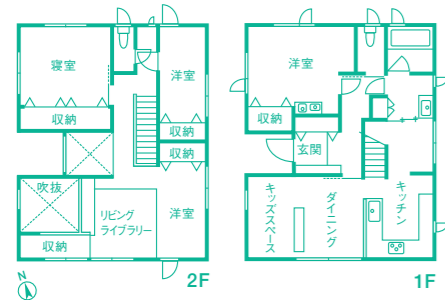
「子どもが学校に通いやすく、高台にあること」を条件に土地を選んだ。設計に当たって要望したのは「家族が元気になる家」。つまり夏涼しく冬暖かく過ごせることが第一条件だったという。そこに吹き抜け、1階の応接間とキッズスペースなどが加わった。要件を盛り込むとLDKのスペースが小さくなってしまったため1階にはキッチンとダイニングを置き、リビングを2階にレイアウトしたのがS邸の設計上、大きなポイントといえるだろう。

明るくて心地良い 居場所がたくさんある家

設計 アトリエ105 | 秋田市/S邸



「木の外観にしたい」という要望を受け、ウッドロングエコ仕上げの杉板張りとした。「森の中にある家」という子どもたちのイメージも取り入れている。



家族構成

夫(40代)、妻(40代)、長男(12)、次男(5)

設計 アトリエ105 施工 志村建設株式会社

竣工 2020/11 構造・工法 木造軸組工法

規模 2階建 敷地面積 195.37㎡ (59.1坪)

床面積(総) 116.34㎡ (35.12坪)

1階 62.93㎡ (19坪) 2階 53.41㎡ (16.12坪)

主な設備・断熱性能等

- 暖房の種類/蓄熱式暖房(ガス) ●給湯の種類/エコジョーズ(ガス) ●バス/LIXIL アライズ ●トイレ/TOTO ZII ●キッチン/タカラスタンダード リフィット
- 調理器具/ガス ●窓仕様(主なもの)/樹脂サッシ Low-Eペアガラス ●断熱材/グラスウール ●換気システム/第1種換気 ●長期優良住宅 ●耐震等級2 ●Q値/1.21W/mK ●UA値/0.34W/mK

主な仕上げ材

- 床材(主なもの)/無垢材(カバ) ●内壁材(主なもの)/塗り壁 ●屋根材/ガルバリウム鋼板 ●外壁材/木材(スギ)

総工費・坪単価

- 建築工事費の総額/2,000万円台(税別)
- 坪単価/55~60万円(税別)

アトリエ105



代表 鳥淵さん

敷地はかつて武家屋敷だったところで、風致地区の制限内での計画が求められました。外壁が木なのもそんな地域に合うものとして提案しました。「家族がいつも元気でいられる」ような暖かさを確保したうえで、明るく楽しい家を目指しました。

<http://www.atelier105.jp>
☎0186-43-5065

→ P.121



2.蔵書の多いSさん。ツーバイフォー材を用いて本棚を自作した。将来は板間の部分を仕切って次男の個室にする予定。3.Sさんたちが希望した、キッズスペースの吹き抜け。二つの大きな窓から光が入り、家じゅうを明るくしてくれる。4.吹き抜けに面した2階リビング。掘りごたつ式の造り付け座卓は、家族のスタディスペース。玄関とつながる吹き抜け上階には書棚を設け、図書コーナーにしている。5.L字型のシステムキッチンと造作の台を組み合わせてコの字型とした。コンパクトで機能的なところがTさんのお気に入り。吊り棚なども造作で、真鍮製のシンプルな取手を付けた。6.Sさんのご両親との同居も見据えて設けた応接室。自炊ができるようミニキッチンを設置している。以前ダイニングテーブルとして使っていたテーブルもSさんの自作だ。7.浴室を開放的にしたいというSさんのための希望で、浴室のドアにはアクリルを採用。目隠しのために手前に3枚戸の引き戸を追加したという。



「家ではとにかくくつろぎたい」と、公私のメリハリを付けたいSさんには2階リビングが最適解だった。「1階を主に生活空間にしたいので、2階ではゆっくり休んだり趣味に没頭したりして過ごします。自然と気持ち切り替わります」と言う。実際、子どもたちもSさんが帰宅するまでは1階のキッズスペースで過ごし、夕食後に家族皆で2階のリビングへ移動。寝るまでのひとときが家族だらんの時間だ。「迷ったときにすぐに相談でき、図面に反映してもらえたのがよかった」と、Sさんは設計士との家づくりのメリットを指摘する。キッチンの仕様や浴室まわりなど、やりとりを重ねては何度も修正を繰り返しながら、ともに作り上げたという実感があるという。Tさんは室内の暖かさに感動し、これで健康に暮らせると確信した。「ちよっと腰を下ろしたり、外を眺めたりと、家のあちこちに居場所があるのもいいところ」とも明かしてくれた。